

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成29年3月17日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅰ》</p> <p>【横浜市立蒔田中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導に関すること ・生活指導に関すること ・学級経営に関すること
調査研究のねらい	<p>【横浜市立蒔田中学校】</p> <p>年齢層、国籍、就学年数が様々に異なる生徒たちが集まっており、そのほとんどが日本語を母語としていないという現状がある。そのため、各教科の学習目標に加えて日本語の習得が課題となっている。また就学年数によって、特に数学と英語において、習熟度に差が見られる。個々の日本語力も多様であるため、生徒一人ひとりに適した日本語教材および数学・英語教材や指導方法を検討し、夜間学級における効果的な学習指導を研究する。また、生活習慣の違いから、トラブルが起きることもあり、それらをしっかりと解決していくことが課題である。授業を通じて、生徒同士または生徒と教員の相互理解を深め、よりよい人間関係の構築に資することをねらいとする。</p>
調査研究の成果	<p>横浜市内の夜間学級が蒔田中学校に統合され3年目を迎えた。今年度は夜間学級専任教諭に理科の教員が配置され、また理科、社会の非常勤講師の時間数も増加された。それにより国語、数学、英語で昨年度まで実施していた少人数指導、習熟度別指導が社会、理科でも実施され、各教科の授業を効果的に行うことができた。その結果、日本語の習得に励む生徒や苦手教科を克服しようとする生徒、得意教科の力を大きく伸ばす生徒が増えるなど、大きな学習成果が得られた。</p> <p>また、生徒のほとんどが外国籍、または外国につながる生徒である本校において、専任教諭とは別に、3年前より中国語と英語の学習支援サポーターが配置されている。来日間もない生徒にとって、学習支援サポーターが生徒の学習を支援していることにより、各教科における学習への理解は深まり、職員とコミュニケーションがとれる安心感も生まれ、その教育的効果は大きい。</p>

<p>学校行事や実技教科をはじめとする学習活動では、多様な活動を行うことができ、生徒の意欲も向上した。その反面で、日本語の習得が不十分な生徒もあり、学習進度や理解の遅れが懸念されている。このような状況を、どのように克服していくが今後の課題である。</p>
